

# 英語教材開発と社会言語学

森 戸 由 久

目次	1 はじめに
	2 教材開発と社会言語学
	3 ハワイを題材にした教材

## 1 はじめに

日本では文法や作文の分野の教材を除いて外国人が作成した教材を使用するか、その教材に注釈をつけることが多い。日本人が英文を書いて教材を作ることが極めて稀なのである。この意味において教材開発についての考察が意義あるものであろう。

日本人が英文を執筆する場合は英語を母語とする人の校閲が必要となる。自分では英米人並みの英文が書けると思うのは危険な考えである。たとえ日本人であっても完璧な日本語を書くのは至難である。したがって、英米人などの複数の教員が加わることがよい教材の開発につながるであろう。

教材開発には現地取材が必要である。教材は真実を伝えるものでなければならない。社会は刻々と変化している。教材作成者は社会の変化について正しく伝えなくてはならない。この意味において社会と言葉について扱う社会言語学

の視点が必要である。

通常、私たちはアメリカ英語かイギリス英語を対象とした教材を考える。カナダ英語やオーストラリアの英語を扱った教材を開発することも可能である。今日ではGlobal EnglishとかWorld Englishesが問題となるのでいろいろな英語についても言及すると便利であろう。どの英語を対象にするかは教員と学習者の必要性に依存する。次に分野と技能とレベルの問題を考慮しなければならない。本論文では具体的な教材開発としてハワイの英語を対象としている。ハワイの英語を選んだ理由は日本人がハワイを訪れる可能性が非常に高いことによる。教材開発では言語面と文化面の二つの面を考慮することが重要である。

## 2 教材開発と社会言語学

教材開発に関しての留意点は次のようになる。

### 1) 英語の種類 varieties

どのような英語を教材の対象にするか。

- a) American English      b) British English      c) Canadian English
- d) Australian English    e) New Zealand English   f) Filipino English
- g) South African English   h) Indian English

### 2) 分野 fields

教材の内容はどの分野なのか。

- a) politics    b) business management    c) law    d) history
- e) geography    f) philosophy    g) economics    h) literature
- i) linguistics    j) engineering    k) medicine    l) chemistry
- m) physics    n) mathematics    o) biology    p) psychology

### 3) 技能 skills

教材はどの技能を対象としているか。

- a) listening    b) reading    c) speaking    d) writing    e) thinking

4) レベル levels

教材はどのレベルの学習者を対象としているか。

- a) introductory (語彙は500語)    b) elementary (語彙は1,200語)
- c) pre- intermediate (語彙は2,500語)    d) intermediate (語彙は3,500)
- e) pre-advanced (語彙は5,000語)    f) advanced (語彙は7,000語)

5) 標準語と方言

教材は標準語を対象としているのか、上級クラスならば方言をも対象とするのか。

- a) standard    b) sub-standard    c) dialect

6) speech levels

教材はくだけた表現を中心とするのか、形式ばった表現を中心とするのか。

- a) informal    b) neutral    c) formal

7) races and social classes

どのような人々の生活を扱うのか。

- a) Caucasians or Whites    b) Blacks    c) Yellows or Browns

以上の用語は差別的なので地域的な用語が好まれる。

CaucasiansのかわりにEuropeans, BlacksのかわりにAfricansとか Afro-Americans, Yellows や BrownsのかわりにAsians とか Mexicans などを使用した方がよいであろう。階級については, Upper, Middle, Lower。中の中を Middle-Middleなどと言う。

8) nonverbal communication

ジェスチャーや記号や絵文字などについてどのように扱うか。

### 3 ハワイを題材にした教材

#### a) ハワイの気候

ハワイの気候はsubtropical climate（亜熱帯気候）である。trade winds（貿易風）が吹いているので涼しい。

The north-east trade winds keep the Hawaiian islands pleasantly cool. These winds were used by sailing ships to carry on trade many years ago. 一年に一回か二回 calm（なぎ）の日がある。現地の人はコナ天気とか steam room weather とか steam bath weather（蒸し風呂天気）と呼んでいる。

Once or twice a year the weather is not good, even in Hawaii. Storms begin in the South Pacific and move north. The trade winds stop and hot, humid winds blow from the south or southwest. This is called “Kona” weather,

ハワイには四季はない。一年中同じような天気が続くが、1月下旬から2月末まで雨模様の日が多い。この期間を“Hawaiian Winter”と言う。

In Hawaii, there is no real winter. However, people call a period between January and February “Hawaiian winter” because there are more cool, rainy days during this period.

#### b) ハワイの人々

ハワイの原住民はポリネシア人とよばれている。アジアから船で太平洋に出て、約8世紀に現在の島々にやって来たと考えられている。

Hawaii is a chain of islands that lie far out in the Pacific Ocean.

ハワイ諸島は火山島で、主として8つの島からなる。現在の人口は約120万人である。日系アメリカ人は約20万人で、ヨーロッパ系は30万人である。

The Hawaiian islands were formed by volcanoes. The first people to settle in Hawaii were Polynesians. They came from distant islands to the south about 1,200 years ago.

## c) ハワイのバス

ハワイではバスとトロリーが公共の交通手段である。観光客もよく利用している。

ハワイのバスはThe Busという文字が車体に書かれている。バスが導入されたときに住民にわかりやすいように文字を表示したのであるが、現在でも文字はそのままである。

The Hawaii Visitor and Convention Bureau (HVCB) figures indicate that 47 % of Japanese visitors and 21 % of Mainland visitors ride The Bus sometime while in Hawaii.

バスに乗ると次のような掲示が目につく。(以下カッコ内の訳は森戸によるものである。)

Yield the priority seats to the elderly and disabled passengers.

(優先席は老人や体の不自由な乗客にお譲りください)

Caution: Do not stand in stepwell when the bus is in motion.

(注意：バスが運行中はステップ乗車しないでください)

Caution: Do not talk to Operator while the bus is in motion.

(注意：バスが走行中は運転手に話しかけないでください)

Wait for Green Light. Touch bars to open doors.

(ランプが緑になるまでお待ちください。取っ手に触ってドアを開けてください)

停留所はただBUS STOPとあるだけで停留所名はなく、時刻表もない。だいたい2ブロックごとに置かれている。乗客は降りたい場所に近づくと窓際のワイヤーを引く。引くと運転手にチンと音で知らせることになる。表示板にSTOP REQUESTEDと出て、録音テープの音声流れる。これは「次とまります」に対応する。バスは前の方から乗車し、乗り換えが必要のときは“Transfer, please.”と言って、乗り換え切符(無料)をもらう。運賃は現在2ドルで同一料金である。大人料金は17歳以上に適用される。子供料金は1ドルである。

Adult \$2 : any person over the age of 17

Out of Service とか Not in Serviceの表示は「回送」のことである。

d) ワイキキトロリー

ワイキキトロリーには4路線がある。ワイキキを中心にアラモアナセンターに行く車両が多い。ワイキキトロリーにそっくりなトロリーがあるが、これはJTBが私的に走らせてらせているもので Oli-Oliと書いてある。

oli-oli はハワイ語で「愉快的」の意味。なお、別系統のアロハタワートロリーがある。

e) ハワイ大学マノア校は1907年の創立の総合大学で学生数は3万人を超える。

The University of Hawaii at Manoa was founded in 1907. More than 30,000 students are studying on the campus.

大学にはハミルトン図書館とシンクレア図書館の2つの図書館がある。蔵書数は約300万冊。大学のキャンパスには2つのカフェテリアがある。Paradise Palmと言うカフェテリアには次のような掲示が目についた。

Do not throw the tray in the trash receptacle.

(トレイをごみ箱に捨てないでください)

ハワイ大学のキャンパスの東側にEast-West Center (イースト・ウエストセンターと言う研究所がある。そのビルの名はBurns Hall。この研究所の目的は東西文化の架け橋になることである。

The center's aim is to promote better relationships and understanding throughout the Pacific-rim region.

f) 売上税

アメリカ合衆国ではsales tax (売上税) がある。この税の名称は国によって異なる。日本では消費税と呼ばれている。英国ではv.a.t.がある。これはvalue added taxの略である。食事すると15%の税金がかかる。カナダ、

オーストラリア、ニュージーランドではGST (= goods and services tax ) がかかる。カナダでは8%で、オーストラリアとニュージーランドでは10%である。アメリカ合衆国では売上税がない州が存在する。売上税がない州でもレストランで食事すると課税される場合がある。ハワイでは売上税は4.21%である。

#### g) 法律と若者

成人の年齢は国によって異なるが多くのが18歳としている。したがって18歳で飲酒、喫煙、投票ができることになる。アメリカ合衆国では飲酒と喫煙と投票権とを別々の年齢に設定している。飲酒は21歳で、喫煙は18歳で、投票権は18歳である。日本では成人は20歳で、近い将来18歳にしたい方向である。運転免許の年齢となるとアメリカ合衆国では州によって異なるが、16歳～18歳である。ニュージャージー州のみが17歳である。日本では18歳である。被選挙権となるとまた違ってくる。

喫煙率についても私たちは関心をはらうべきであろう。アメリカ合衆国の人々は喫煙率が20%であるが、日本人はまだまだ高い。日本人男性は40%、女性性は20%である。喫煙が中毒を起こすことを忘れてはならない。

Smoking increases the risk of many serious deadly diseases, especially heart disease, cancers, emphysema, pneumonia, and bronchitis. Smoking is more than a dangerous habit. It is an addiction.

#### h) ハワイの日本語

ハワイには20万人の日系アメリカ人が住んでいる。日系一世の人々の時代は終わり、日系2世の時代も終わりかけている。日系3世の人々は日本語をほとんど使わず、英語中心である。したがってハワイで日本語を使っている人は日本人観光客を相手にする日系アメリカ人と日本人である。ハワイ大学の学生が学ぶ外国語は日本語が一番人気があるが、中国語や韓国語を学ぶ学生が多くなってきている。日本語放送は中波で2局あるが、FMの1局は夜間のみの放送

である。日本語新聞は1紙ある。この新聞は「ハワイ報知」で半分が日本語で、あとの半分は英語である。

ハワイで使われている日本語は日本本土のそれと違うものがあって興味深い。たとえば、「キャッシャー」は「レジ係」,「コンド」は「マンション」,「クック」は「コック」,「レジメ」は「履歴書」,「ウエイトヘルプ」は「ウエーターとウエイトレスの補助員」に対応する。「フルですか,パートですか」は「フルタイムですか,パートタイムですか」のことで,「ベネフィット提供」はfringe benefits がつくということで,有給休暇や交通費などの給料以外の給付がありますと言うこと。ハワイで最大のショッピングセンターであるアラモアナセンターで見かけた表示に「Caution Wet Floor 御注意 濡れた床が滑ります」と「Caution Wet Floor 警戒 濡れた床が滑ります」があった。

i) ハワイの食べ物  
ハワイの人々はタロ芋のでんぷんを主食としていたが、今日では米を主食としている人が多い。ハワイの食べ物としてラウラウが有名である。

The most popular Hawaiian food is called "laulau." It consists of pork and fish wrapped in broad leaves and steamed.

熱帯の果物も豊富である。

A: Do you like tropical fruit?

B: Yes. I like bananas and papayas.

j) Ala Moana Center (アラモアナセンター)

アラモアナショッピングセンターと言ったが、現在では短くしてアラモアナセンターと言う。建物は3階建てで一階にMakai Food Courtがある。ここで世界の料理を楽しむことができる。プレートランチが中心で、量が多い。南側の奥にうどんやそばの店Tsuruyaがある。東側にYokozunaと言う鮎屋がある。

デパートは北側にMacy's, 南側にSearsがある。200以上の店が客を待っている。



Ala Moana Center is Hawaii's premier shopping, entertainment, and dining destination. with over 260 stores and venues in a unique indoor / outdoor environment. It is located just 20 minutes from Honolulu International Airport, and within walking distance of most Waikiki hotels. Ala Moana Center is Hawaii's shopping destination for visitors and residents alike.

**Bibliography :**

- Friedman, Bonnie & P. Wood. (1998). *Hawaii*. (DK Publishing)
- Klein, Edward & V. Klein. (1982). *Discover America: Hawaii*. (Oxford University Press)
- Morito, Yoshihisa. (1977, 1990). *Introduction to International English*. (Hokuseido)
- Morito, Yoshihisa. (1996). *International English Communication*. (Hokuseido)
- Macmillan Visual Almanac*. (1996)